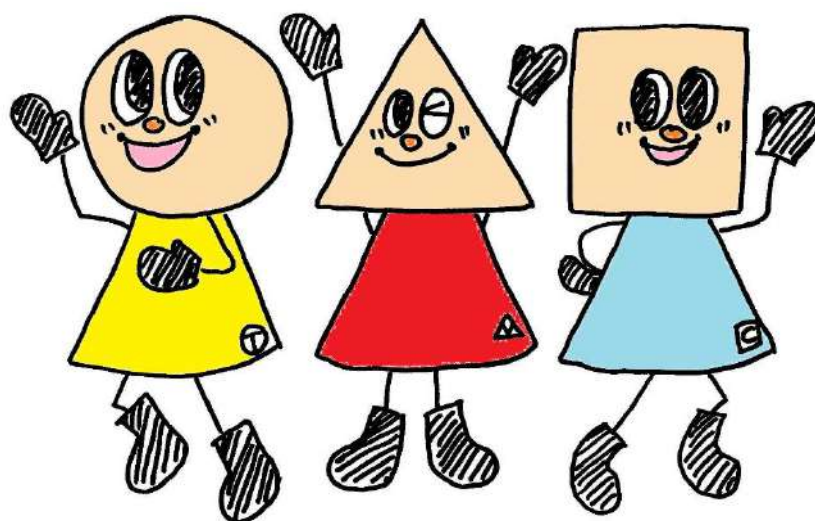


夏のボランティア体験 2022 in 所沢

# 事前説明会資料



所沢市社会福祉協議会ボランティアセンター 非公式キャラクター  
まるさん・さんかくさん・しかくさん

## 社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター

住 所：所沢市泉町 1861-1  
所沢市こどもと福祉の未来館 3 階  
電 話：04-2925-0041 (平日 8:30~17:15)  
FAX：04-2925-3419  
メール：0041m@toko-shakyo.or.jp

# 夏のボランティア体験 2022 in 所沢

## 夏のボランティア体験 2022 in 所沢の目的

「夏のボランティア体験 2022 in 所沢」は、ボランティア活動に興味はあるものの、「どうやって始めればいいのか分からない」「ボランティア活動が未経験で不安がある」など、これまでボランティアを始める機会が無かった方たちのために、活動のきっかけづくりを行うものです。学校の夏休み期間を実施期間とし、子どもから大人まで、ボランティア活動を「体験」できる機会をつくり、市民に対しボランティア活動の普及・啓発・育成を図ることを目的として実施します。

## 説明会参加申込み期間

令和4年6月13日（月）～令和4年7月15日（金）

## ボランティア体験実施期間

令和4年7月25日（月）～令和4年8月24日（水）

## 事前説明会

- ① 令和4年7月2日（土）10：00～11：30
- ② 令和4年7月8日（金）18：00～19：30
- ③ 令和4年7月10日（日）10：00～11：30
- ④ 令和4年7月17日（日）10：00～11：30

## 報告・交流会

- ① 令和4年8月25日（木）10：00～11：30
- ② 令和4年8月27日（土）10：00～11：30
- ③ 令和4年9月4日（日）10：00～11：30
- ④ 令和4年9月4日（日）13：30～15：00

※会場：所沢市こどもと福祉の未来館 1階 多目的室1・2号

## ボランティア活動のワンポイントアドバイス

### ★そもそも、ボランティアってなんだろう？

#### ①自発性

個人の自由意志に基づいてなされる活動で、他から強制されたり、義務として押し付けられたりするものではありません。自ら進んで主体的に行う活動です。

#### ②非営利性

精神的報酬（喜びや楽しさなど）を得る活動であって、金銭の報酬を期待して行うものではありません。

#### ③公共性・社会性

ボランティア活動は、自分の世界で完結してしまうものではなく、社会性の高い活動です。

#### ④先駆性・創造性

自分のアイデアが活かし創意工夫ができる、創造的な活動が可能です。

#### ⑤対等性

ボランティア活動は、ボランティアを依頼する側も活動をする側も対等な関係です。

### ★ボランティア活動を始める・続けるポイント

ボランティア活動と言えども、一定の責任を伴います。また、相手に対する思いやりや基本的なマナーなど心がけておくべき点があります。ボランティア活動が自分にも相手にも有意義なものになるように、「ボランティア活動のポイント」をご紹介します。

#### ①気負わず、無理せず、自然に、楽しく活動しよう

それぞれの考え方や立場を大切に、無理せず自分にできることや自分に合ったことを、自分のペースで行うことが大切です。

#### ②家族や周囲の理解を得よう

家庭内や仕事仲間など、まず身近な人に理解を得てから取り組みましょう。

#### ③相手の立場に立って活動しよう

何を求めているのか、考えて行動しないと、逆に相手に迷惑をかけることにもなります。心くばりや話し合いなどを大切にしながら活動しましょう。

#### ④活動先のプライバシーは他言してはいけません

活動が楽しく感じられるのは相手との信頼関係があるからです。信頼は約束や秘密を守ることによって得られます。個人情報の取り扱いにはくれぐれも注意して下さい。

#### ⑤相手から学ばせてもらう気持ちを忘れずに

「～してあげる」という一方的な押しつけの善意は、相手にとってかえって迷惑になる場合があります。協力者であると同時に対等な人間であるという気持ちを忘れないようにしましょう。そして、相手の気持ちを尊重しましょう。

#### ⑥時には活動の振り返りをしよう

ボランティア活動を点検・評価し、今後の活動に活かしましょう。

#### ⑦安全対策に注意しよう

活動中の安全には十分に注意し、事故が起きたときの対応方法を前もって確認しておきましょう。また、ボランティア活動中の万一の事故の備えとして、ボランティア活動保険という仕組みがあります。（くわしくはボランティアセンターまで）

★豆ちしき～ボランティアの語源～  
ボランティア(Volunteer)＝ラテン語のボラ  
タス(Voluntas＝自由意志)「自発的に自らの  
意志をもって行動する」という意味。



## 体験の流れと注意事項について

### ステップ1

### なにをするにも準備が大切！ボランティア体験するための準備をしよう！

- ① 体験場所（事務所の所在地と体験場所が異なっているところもあるので注意！）、日時、持ち物（お弁当）、服装、参加費、注意事項などを確認しましょう。
- ② 体験先独自の事前説明会の有無を確認しましょう。
- ③ 7/19以降、体験の1週間前まで（原則）には、体験先に必ず電話を入れて下さい。念のため、自分が体験する日時も確認して下さい。また、わからないことも、その時に聞いておきましょう。

例)『夏のボランティア体験に申し込んだ〇〇です。受入担当の●●さんでしょうか？  
〇月〇日にボランティア体験にお伺いしますので、どうぞよろしくお願いします。』

#### 【電話連絡時のチェック事項】

- ボランティア体験の日にち・時間を確認した。
- 体験先の事前説明会があるか確認した。
- 当日の集合場所について確認した。
- 当日の持ち物を確認した。（お弁当・飲み物・その他必要なものなど）
- 当日の服装について確認した。
- 参加費の有無について確認した。
- その他注意事項について確認した。



- ④ 体験に参加できなくなってしまった場合は、至急、体験先とボランティアセンターに連絡して下さい。（土日の場合ボランティアセンターへの連絡は月曜日をお願いします。）  
※体験参加申込書については、体験先に送付します。

### ステップ2

### さあ、いよいよボランティア体験です！

- ① 出発前に、検温と健康チェックシートを記入し、体験先に持っていきましょう。  
**発熱（37.5度以上または平熱より1度以上高い場合）や体調のすぐれない方、健康チェックシートで、✓の記載ができない場合は参加できません。**  
欠席の連絡を体験先とボランティアセンターに連絡してください。
- ② マスクの着用をして、ゆとりをもって体験先に到着できるように、少し早めに家を出ましょう（最低でも10分前には到着しているように）。また、やむをえず遅刻しそうな場合は、**体験先に必ず連絡して下さい。無断で遅刻や欠席しないように！**
- ③ 何ごとにもあいさつが大切。まずは大きな声であいさつをしましょう！  
例)『夏のボランティア体験に参加する〇〇です。今日は1日よろしくお願いします！』

※小学4年生以下のお子様は保護者等の付き添いをお願いします。

- ④ **体験先に健康チェックシートを提出しましょう。** 体験先では、職員等の話をよく聞いて行動しましょう。何か分からないことや困ったことがあったら、職員等に必ず聞きましょう。自分の考えで行動しないように！
- ⑤ 活動中、もしも事故にあってしまった場合は、至急体験先とボランティアセンターに連絡して下さい。行き帰りの事故の場合も連絡して下さい。（土日の場合のボランティアセンターへの連絡は月曜日をお願いします。）

### **無事にボランティア体験終了！**

- ① 体験が終わったら、お世話になった職員の方々にお礼を言って下さい。
- ② ボランティア体験を通して何か相談したいことや質問があったら、遠慮なく体験先の職員の方や、ボランティアセンターの職員に相談して下さい。
- ③ 『参加者用アンケート』に必要事項を記入して体験先に提出して下さい。その場で書けない場合は後日（遅くとも3日以内）体験先に提出して下さい。
- ④ **体験が終わってから14日以内に発熱やのどの痛み、咳や強いだるさ等の症状がでた場合は、ボランティアセンターにご連絡ください。**

### **報告会・交流会に参加しよう！**

報告会には必ず参加して下さい。報告会・交流会では、活動の振り返りや今後のボランティア活動についての情報提供を行います。

【日時】

- ① 令和4年 8月25日（木）10：00～11：30
- ② 令和4年 8月27日（土）10：00～11：30
- ③ 令和4年 9月4日（日）10：00～11：30
- ④ 令和4年 9月4日（日）13：30～15：00

※会議：所沢市こどもと福祉の未来館 1階 多目的室1・2号

※やむを得ず参加出来なくなってしまった場合はボランティアセンターまでご連絡ください。



## 夏のボランティア体験 2022 in 所沢

### 参加者 及び 保護者のみなさまへ

#### 「夏のボランティア体験 2022 in 所沢」に参加にあたっての 新型コロナウイルス感染拡大防止対策とお願い

この度は、夏のボランティア体験 2022 in 所沢への参加申し込みをいただき、ありがとうございました。開催にあたっては新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、下記の対策を講じたうえで実施をしてまいります。参加される皆様にも何かとご不便をお掛け致しますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

#### ■感染予防対策(説明会・報告会)

- 検温と手指消毒
- 換気
- マスクの着用
- 会場の人数制限
- 共有部分の定期的な消毒

#### ■活動に際しての感染予防対策

- 参加者への感染予防のお願い
- 健康チェックシートの提出
- 参加者へのボランティア活動保険加入のお願い
- 健康チェックシートでの確認
- 受け入れ団体への感染予防のお願い

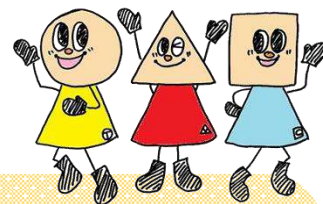
新型コロナウイルス感染拡大  
防止対策にご理解とご協力を  
お願いします。



# 新型コロナウイルスに負けないためにとりくんでほしいこと

かんせん よぼう

## ～感染を予防するためのお願い～



ただ

### ① マスクを正しくつけよう



せいけつ

### ② 清潔をこころがけよう



しんたいできせつしよく さ

### ③ 身体的接触を避けよう



握手やハイタッチ等の直接的な接触だけでなく、飲み物やタオルの共有もやめましょう

も かえ

### ④ ゴミは持ち帰ろう



鼻水や唾液のついたゴミは、袋に入れて持ち帰ろう

ほか かつどうちゅう う い だんたい しじ

その他、活動中は受け入れ団体の指示にしたがってください

# ボランティアガイド

## ボランティアの心構え with コロナ編

コロナ禍でボランティア活動を行うにあたり、今からできること、活動時にできること等をまとめました。

### 3つの基本

#### 感染しても絶対に責めない！

どんなに対策をしても感染してしまうことがあります。感染者を守る雰囲気をつくるのが、感染症対策には、とても大切です。

**自分が感染しても、  
自分を責めない！  
周囲の方が感染しても、  
その方を責めない！**



#### マスク時も気持ちが伝わるコミュニケーション!!

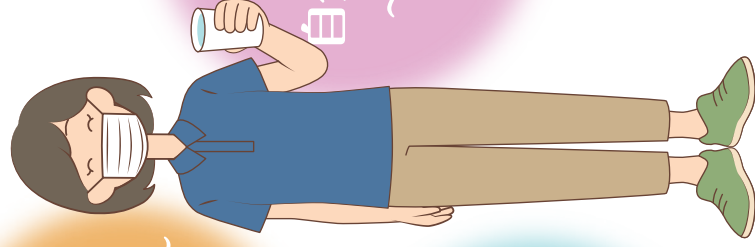


マスクをしているときは、目と眉しか相手に見えません。ですので、いつも以上に、表情を豊かにすることを心掛けましょう。そして、ジェスチャーをつけることで、より気持ちが伝わります。

また、マスクは声がかもり、聞こえにくくなります。はっきり、ゆっくり話しましょう。大きな声を出すときは、マイクや拡声器を使用すると効果的です。

相手を守ろう

～感染を広げない～



自分を守ろう

～感染予防～

みんなを守ろう

～責めない～





# みんなが安全・安心にボランティア活動をするために

## 日頃からできること



**よく食べ・よく寝て・よく運動**  
健康的な身体つくりで免疫力を下げないことがもっとも効果的な感染症予防対策です。

動画をチェック  
「免疫力を下げないための3つのポイント」



## 活動前



**感染症予防対策をチェック**  
主催者が定める感染症予防対策のルールを事前に確認しておきましょう。

**体調が悪いときは必ず休む!**  
ボランティアをしたい気持ちもありますが、しかし、感染からお互いを守るために、他人にうつさない行動が大切です。

動画をチェック  
「活動前」



## 活動後 (2週間以内)



活動後2週間は健康観察を行ってください。陽性と発覚した場合は、速やかに主催者にも連絡してください。

主催者連絡先  
電話番号: 03-100-1010

## 活動中

### 必ずやろう

**マスクの着用**  
マスクをすることで、自身のせきやくしゃみによる飛沫の拡散を抑えられます。また、マスク着用時も、咳エチケットを忘れずに!

動画をチェック  
「マスクを着用・外した際のポイント」



手洗い場がないときは、携帯できる手指消毒用アルコールが便利です。

**手洗い(または手指消毒)**  
「手指にウイルスがついた=感染」ではありません。その手指が、口や鼻にいくことで、ウイルスが体内に入ります。食事などの前に、手洗いをすることで、接触感染リスクを下げられます。

動画をチェック  
「手指を清潔にするためのポイント」



### 暑いときは



高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。屋外で人と十分な距離が確保できる場合には、マスクを外すようにしましょう。

## ココが感染リスク大「気が緩むとき」が要注意

- 「休憩中」・「食事中」**  
コミュニケーションはボランティアの醍醐味ですが、マスクを外した、近距離での会話がもっとも感染リスクが高いです。(工夫の例)  
話すときは距離を取る(机を口の字、コの字型にする)、間にアクリル板を置く 等
- 手指の接触を伴うコミュニケーション**  
ボランティアの現場では、よくハイタッチが行われます。少しでも接触感染リスクを避けるために、ハイタッチに代わるコミュニケーションを使ってみてはいかがでしょうか。
- 活動のあとの「憩親」**  
会合時に感染している人がとても多いです。自粛も検討し、行う場合には3密の環境を避け、大人数で行わないなど、少しでも感染リスクが低くなるよう、気をつけましょう。



# こんにちは ボランティアセンター です！

ボランティアをしたい人と、してほしい人を  
つなげるはたらきをしています。

ボランティア  
活動  
したい！



ボランティア  
に手伝ってほ  
しい！

ボランティアに関するご相談は、お気軽にボランティアセンターへ！

ボランティア情報や社協からの  
お知らせを配信します！



お友達になって



欲しいぴよ…

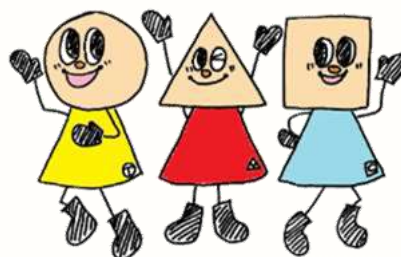


YouTube チャンネル  
を開設しました！

福祉に関する情報を動画でお届けしています。

「所沢社協ボランティアセンター」

で検索！



所沢市社会福祉協議会 地域福祉推進課／ボランティアセンター

所沢市こどもと福祉の未来館 3階 (平日 8:30~17:15)

電話：04-2925-0041 FAX：04-2925-3419 メール：0041m@toko-shakyo.or.jp



